

地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内を取材し、年3回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります！

白石東

まちづくり通信

2006.11.20 発行

自主防犯パトロール本格始動！

青色回転灯装着車

今回3月のまちづくり協議会設立総会で実施が決定された「安全まちづくりプロジェクト」の活動が開始されました。

具体的には、白石東地区の全域を範囲とし、地域内にある大谷地・東白石・平和通の各小学校に通う児童の通学時の安全確保、夜間の防犯対策として、青色回転灯をつけた車によるパトロールを実施するものです。

パトロールの本格始動に先立って、白石区役所、白石警察署、地域の学校、町内会等の関係者が見守る中、去る10月19日(木)午後1時30分からパトロール隊の出発式が挙行されました。



取材担当：武田

による自主防犯パトロール活動実施



青色回転灯



ドアに貼られたこのマークが目印！



《防犯パトロール宣言》

「私たちの住むまちを安全なまちにしたい！安心して暮らせるまちにしたい！」そういう願いから、自分たちのまちを自分たち自身の手で守る『白石東青色パトロール隊』が隊員37名、パトロール車11台で発足いたしました。

我々白石東青色パトロール隊は、地域住民や学校、警察などと協力し合いながら、白石東地区の防犯と、子供たちの安全・安心の確保のため、熱意をもってパトロール活動を行っていくことをここに宣言いたします。

白石東青色パトロール隊 三上 繁

パトロール隊概要

- 1 名称 『白石東青色パトロール隊』
- 2 隊長 みつば町内会長 三上 繁
- 3 本部 白石東まちづくりセンター内
- 4 パトロール車 登録台数 11台
- 5 実施者 37名
- 6 実施期間 昼間 学校の休業期間を除き、毎週火曜
夜間 6月～9月、毎月第1、3水曜
- 7 時間帯 昼間 午後2時～5時
夜間 午後8時～10時
- 8 巡回経路 3校の通学路を中心として地域内巡回

災害は忘れた頃にやってくる！

取材担当：武田



どの訓練も
チームワークが
大切だね。

白石東地区初の 合同防災訓練実施

去る10月1日（日）、吉田山公園（南郷通20丁目南）において、白石東地区町内会連合会・大谷地第二町内会合同の防災訓練が実施されました。

当日は絶好の秋晴となり、白石消防署の方の指導のもと、煙道通過訓練、消火訓練（水バケツリレー、消火器）、倒壊建物救出訓練、水防工法訓練、救出救護訓練（心肺蘇生法：AED）等々、普段あまり経験することのない訓練をグループごとに一通り受け、正に忘れた頃にやってくる災害に対し「備えあれば憂いなし」を体験しました。



水バケツリレーは急いでも正確に



土のうに土を詰める水防工法訓練



心肺蘇生法の訓練：練習とはいえ真剣そのもの

継続することが大切！

今回は初めての合同防災訓練でしたが、参加者約200名、午前10時から2時間にわたり熱心に各種訓練を受け、極めて有意義な一日となりました。

近年、北海道でも直接台風が上陸するようになり、防災訓練の必要性はいうまでもありません。これを契機に来年度以降も防災訓練が継続され、一人でも多くの市民が訓練を受けることを望みます。

白石の氏神様

取材担当：杉浦



白石神社には、
歴史がある
んですね～

白石神社 を取材しました。



白石神社の本殿

明治5年、旧仙台藩白石から入植者の守り神として、札幌神社の遥拝所が建てられ、その後明治30年9月10日に念願の神武天皇を祀った白石神社となり、白石の氏神様として住民の心の支えとなっています。

毎年初詣には、7万人もの人達が「家内安全」「商売繁盛」「合格」祈願のため参拝におとずれ、北海道神宮に次ぐ道内2番目の参拝者があるそうです。

境内には湧き水が出ていて、お茶やコーヒーを入れると美味しいと評判で、水を汲みに来る人が絶えません。また、ここの境内は街の中にしては珍しく樹木に囲まれた静かな所で、散歩にも最適です。

伝統ある白石神社例大祭

毎年9月11日の例大祭では、白石区は5つの祭典区に分けられ、5年ごとに年番を担当します。

今年の年番は第一祭典区で、白石東からも5町内会が加わり、神輿渡御には、錫杖、狩衣、袴の衣装を着け、また地区の子ども達も行列に参加し盛大なお祭りが行われました。



盛大な神輿渡御(みこしとぎよ)の様子





60年前の
農作業の写真
があるよ

大谷地の歴史について

大谷地に人が住み始めたのは、本紙創刊号で明治18年と紹介したことがあります。その後、明治21年岩手県より吉田善太郎氏が入植し、当初は炭焼きをするため、柏の木が生えている土地を次々と買い求めていたそうです。

明治24年、厚別川から水を引き、吉田農場内に用水を作り「吉田用水」と呼ばれ、その後の大谷地の発展に大きく寄与することになりました。（工事に関する資料は焼失していますが、スコップ、クワで幅4m、深さ2mの溝を5kmにわたって掘る難工事だったと古老の人たちの言い伝えがあります。）



お話を下さった稲津富雄さん

この用水路の完成で、米づくりが盛んになり、大谷地に入植する人が相次いだとされています。

稲津さんが語る大谷地

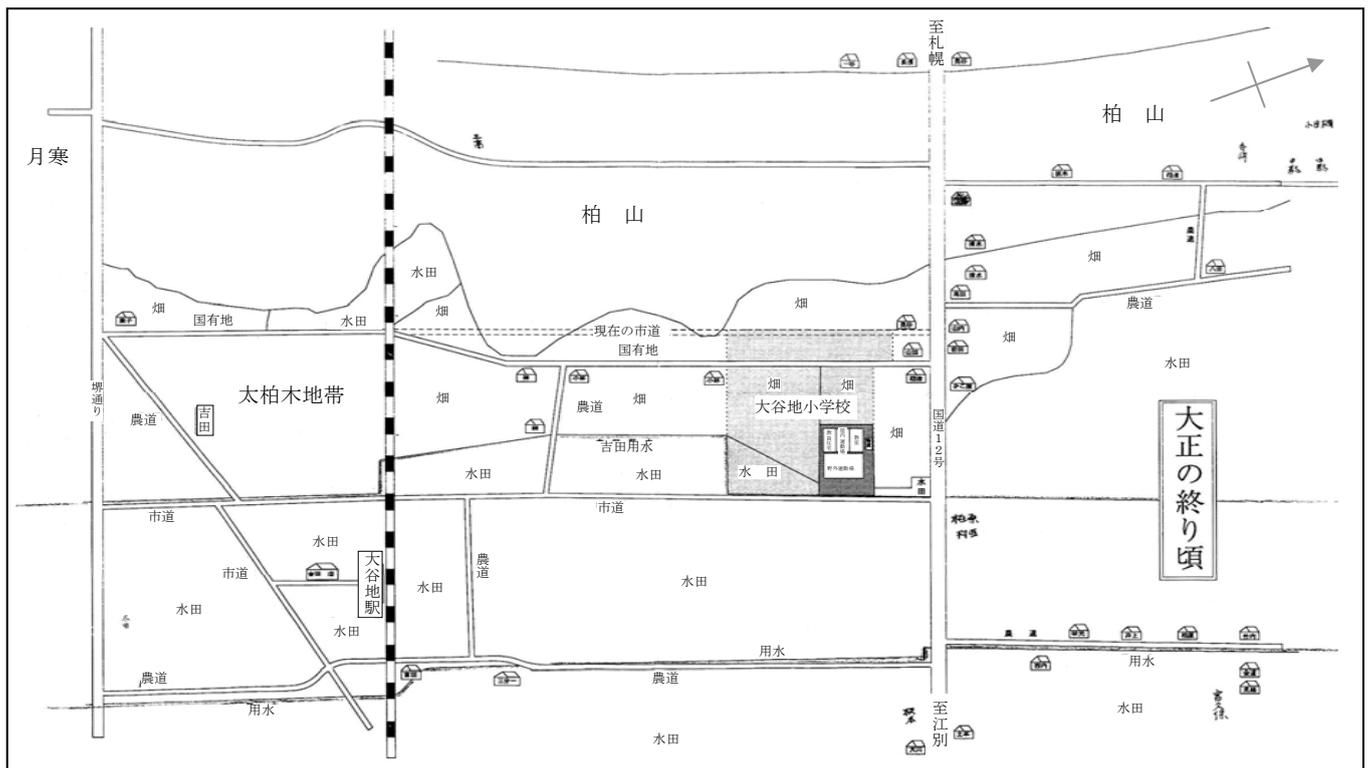
今回、大正時代のころをお話し下さった稲津さんも、祖父は明治20年、福井県より大谷地に入植をしています。入植して6年後の明治26年、となりに大谷地小学校が開校されたとのこと。

大正9年10月1日の国勢調査に関する資料(写し)が稲津さん宅にあり、拝見させていただきましたが、当時、大谷地に居住していた世帯は63世帯との記録がありました。

大正8年には、大谷地地区にも電気が通り、一世帯1個の裸電球が灯ったことに感激をしたり、また大正15年には北海道鉄道の苗穂～苫小牧が開通、現在のコープルーシー店の近くに大谷地駅があり、自分の水田のすぐそばを急行列車が黒煙をはいて通過するのを見送っていたと、当時をなつかしそうに話して下さいました。



昭和30年代、大谷地小学校近くの水田で農作業中の稲津さん



稲津さんのお話をもとに作成した「大正の終り頃の大谷地」

今年で3回目

取材担当：五十嵐



白石亭で 秋を楽しむ会

去る10月28日(土)、本通17丁目北にある白石亭を使って、まちづくり協議会主催の第3回「白石亭の秋を楽しむ会」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、およそ100名の方々が白石亭での秋を楽しみました。

今回のメインテーマは「世代交流」ということで、けん玉、竹馬、お手玉、おはじき等の昔からある遊び道具を使って、お年寄りと子どもたちが一緒になって楽しいひと時を過ごしました。



たい肥作りは落葉を集めから

また、みんなで力を合わせて拾った落ち葉を使って、「循環(くるくる)ネットワーク北海道」の講師の方の指導のもと、たい肥作りも体験しました。



味覚の秋も満喫!

最後は、落ち葉で焼いたホクホクの焼き芋と、町内会婦人部の方々に作ってもらったアツアツの豚汁をおいしくいただきました。

スタッフとしてご協力いただいた町内会、老人クラブ、青少年育成委員会のボランティアの方々、ありがとうございました。



白石亭

白石区本通17丁目北



懐かしい遊びに、子供も大人も思わず熱中



遊んだ後はお腹がペコペコ。「早く豚汁たべたいな」

お知らせ

☆子育てサロンの「クリスマス会」

0歳から就学前の子供と親が自由に集まる子育てサロンでのクリスマス会です。この日はひと足先に、サンタクロースに会えるかも・・・

日時:平成18年12月20日(水)午前10時から 会場:白石東会館



クリスマス会の様子(平成17年)

☆子供カルタ会

子供カルタ会を下記の日程で開催します。当日は「おしろこ」も用意しております。

日時:平成19年1月21日(日)午前9時から 会場:白石東会館



子供カルタ会の様子(平成18年)

☆第15回 白石東地区室内スポレク大会

ミニバレーやテニボン、インディアカなどの室内競技を楽しみませんか?

日時:平成19年1月21日(日)午前9時30分から 会場:大谷地小体育館

情報をお寄せ下さい!!

「近所におもしろいものがある」、「前から気になっていた施設がある」、「ユニークな活動をしている人を知っている」など、どんな話題でも結構です。皆さんからの地域の情報をお待ちしております。



取材スタッフ

武田祐次(町連)・杉浦凧子(民児協)・浦川栄一(民児協)

五十嵐載子(育成)・長井和幸(体振)・関戸美津子(大谷地小P)

お問い合わせ「白石東地区まちづくり協議会」

〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6 白石東まちづくりセンター内

TEL011-862-0813 FAX011-862-8694 (休館:土・日・祝日)

